

令和元年度鹿児島県歯科口腔保健推進協議会の開催結果について

- 1 日 時 令和元年7月31日（水）13：30～15：00
- 2 場 所 鹿児島県青少年会館3階 洋会議室
- 3 出席委員 12名（代理出席2名を含む）
伊地知会長，森永委員，大西委員，於保委員，田畑委員，下川委員，
児玉委員，湯元委員（代理：向江健康増進課長），日高委員，南部委員，
東條委員（代理：徳田主任指導主事兼健康教育係長），中山委員
- 4 公開・非公開の別
公開
- 5 傍聴者
2名
- 6 内 容
 - (1) 報告
 - ア 本県の歯科口腔保健の現状について
 - イ 令和元年度の県及び市町村並びに各団体の取組について
 - ウ 鹿児島県口腔保健支援センターについて
 - (2) 意見交換
「かかりつけ歯科医」の普及啓発について
- 7 主な意見
 - 定期的に歯科健診を受けていると歯科医院で褒められるため，受診が楽しくなっている。このようなポジティブな方向性での広報ができればよいのではないか。
 - 中高生になると定期的な歯科健診の受診が少なくなり，特に受験期などになると，半年で口腔内の状況が悪くなるケースもある。継続的に普及啓発していくことが大切である。
 - かかりつけ歯科医を普及するためには，その意義と「かかりつけ歯科医」を持つことの利益，持たないことの不利益を住民に理解してもらうことが必要である。